

# 皆が輝く職場目指し

## 県電子機械工業会「女性の会」設立

県内製造業などをつくる県電子機械工業会の研究会「職場を元気にする女性の会」の第1回会合が、長岡市大手通2のまちなかキャン



パス長岡で開かれた。県内企業や行政などで働く女性約20人が参加。育児と仕事の両立や家族の健康など幅広い分野について実体験を基に語り合った。

女性が働く上でのさまざまな課題について、職場以外でも語り合う場を持つてもらおうと同工業会が初めて企画。メンバーは「働く女性」全てが対象で、会員企業以外からも募った。専門家を講師に招き、年間

女性社員らが職場での取り組みや課題などを語り合った「職場を元気にする女性の会」の初会合。長岡市大手通2のまちなかキャンパス長岡

3、4回程度の会合の開催を予定している。

2日に開かれた会合の意見交換では、参加者はそれぞれにフレックス制度の導入や休暇を取りやすい雰囲気づくりなど、各社の取り組みを説明。「出産の際に夫が休みを取りづらそうだった」「義父母との同居で

なければ、仕事と子育てはやりくりできない」と現状を訴える声もあった。

また、会社だけでなく、家族の健康といったテーマも取り上げ、病気や料理のことなども話し合った。

年度幹事に就いたTDKラムダ長岡テクニカルセンターの佐藤真佐美・長岡総

務グループリーダーは「女性の登用や働き方など先進的な取り組みを行っている企業も多い。意見交換を通じて学んでいきたい」と話した。